



Koshino Eriko
© 古屋 均

Yoshiizumi Nanko
© 兼岩 俊和

Yoshiizumi Zenta
© 野口 隆史

吉泉善太プロデュース

室内楽の夕べ Vol.1

in 上越 & 札幌

ヴァイオリン：星野えり子 / ソプラノ：吉泉奈々子 / ピアノ：吉泉善太

プログラム

- G.F.ヘンデル (9つのドイツアリア集より)
来るべき日々のむなしい憂いも
汝ら、暗闇の墓から
こちよい茂みの中で
燃えるような薔薇、この世の飾り
- J.ハイドン
ピアノソナタ第62番
- F.リスト
ローレライ
- C.フランク
ピアノとヴァイオリンのためのソナタ

プロフィール

星野えり子 (ヴァイオリン)
幼少期、長野県松本市にんでいたことから、鈴木鎮一の才能教育法によりヴァイオリンを始める。普通高校を経て、国立音楽大学器楽科入学。諏訪晶子、山内妙子両氏に師事。同大学卒業後、1978年渡独。ノイエフィルハーモニー・ヴェストファーレン・オーケストラの第1ヴァイオリン奏者として、2010年まで在団。その間、東西ドイツ統一、ユーロ通貨導入など時代の様々なできごとを目の迎りにして、音楽家生活も政治、経済と無縁ではないということを感じた。一時期イゼリクス・クワルテットに所属、室内楽活動も展開。バロック音楽、特にバッハの作品演奏を生涯の課題としている。2014年、林光作曲のオペラ「森は生きている」のコンサートマスターを務めた。国際シューベルト協会会員、デュッセルドルフ書道庵会員。

吉泉奈々子 (ソプラノ)
東京生まれ。東京音楽大学附属高校を経て同大学声楽科卒業。2011年渡独、ベルリンにて主にドイツリート、宗教曲の分野で研鑽を積む。これまでに高橋啓三、島田準子、山本富美、レギーナ・シューテル、櫻田亮の各氏に師事。2014年帰国ののち、札幌を拠点にソロ及びアンサンブルによる演奏活動を行っている。2018年、オールシューマンプログラムにより札幌と東京でリサイタル開催。2019年、表現工房・洗濯船「オリンピック・サ・ミュージカル」出演。北海道フーゴ・ヴォルフ協会会員。

吉泉善太 (ピアノ)
札幌市出身。5歳よりピアノを始める。道立札幌南高等学校、北海道教育大学札幌校芸術文化課程音楽科を卒業後、1996年に渡独。ベルリン「ハンス・アイスラー」音楽大学においてガブリエル・クップファー・ナーゲル氏(ピアノ)、ラルフ・ゴトーニ氏(室内楽)、ヴァルター・オルベルツ氏(室内楽)のもとで研鑽を積む。2002年同大学院を修了、ドイツ国家演奏家資格を取得。オールベートーヴェンプログラムのリサイタル開催によって札幌市民芸術祭奨励賞受賞。その後2014年まで、ベルリンを本拠地として演奏と音楽教育の分野で活動が続ける。ベルリン交響楽団、ベルリン楽友オーケストラと共演、ソロリサイタル及び室内楽、歌曲の伴奏者としてもヨーロッパと日本各地で数多くの演奏会に出演。日本へ帰国したのは札幌を拠点に演奏活動と後進の指導にあたる。2018年、第7回北の聲アート奨励賞受賞。北海道日独協会理事。ベルリナー・ペーレン、北海道フーゴ・ヴォルフ協会会員。

上越公演 **2019.8.17** 土
[開場 /PM6:00 開演 /PM6:30]

ラ・ソネ菓寮 春日山店

[入場料] 3,000円(全席自由)

新潟県上越市春日山 3-19-7 ☎025-526-2208

[主催] ZYX 企画 [協力・チケット取扱] ラ・ソネ菓寮 春日山店



札幌公演 **2019.8.28** 水
[開場 /PM6:30 開演 /PM7:00]

ふきのとうホール (六花亭札幌本店6階)

[入場料] 3,000円(全席自由)

札幌市中央区北 4 条西 6 丁目 3-3 ☎0120-126-666

[主催] ZYX 企画

[後援] 札幌市・札幌市教育委員会・北海道新聞社・北海道フーゴ・ヴォルフ協会

[チケット取扱] 道新プレイガイド 札幌市中央区大通西 3 丁目 Tel.011-241-3871

